

令和6年度 射水市社会福祉協議会事業報告

射水市社会福祉協議会（以下「本協議会」）では、令和2年度に射水市と共に策定した「いみず地域共生プラン（第2次射水市地域福祉計画・第3次射水市地域福祉活動計画）」に基づき、「みんながつながり支え合う 笑顔でいきいき暮らせるまち 射水」を基本理念に掲げ、地域共生社会の具現化を目指し、「ともに支え合う人づくり」「安心して暮らせる地域づくり」「自分らしく生活できる仕組みづくり」の3つを基本目標として、令和6年度は4つの重点取組と7つの活動方針により地域福祉活動を推進した。

「ふくし総合相談センターすてっぷ」では、地域において様々な相談を受ける機会の多い民生委員・児童委員やふくしサポーター、各相談支援機関等と連携を深めることで、複合的な課題を抱える世帯等に対して相談支援体制の充実を図った。

安心して暮らせる地域づくりに向けては、各地区社会福祉協議会への訪問や地域の会議の参加等を通じて、地域福祉の現状と課題の把握に努めるとともに、地区社会福祉協議会の育成・支援に取り組んだ。

組織運営では、地域福祉を推進する中核的な団体としての事業運営や経営ビジョンの実現に向けて策定した「射水市社会福祉協議会発展・強化計画」により、各事業における取組の進捗状況を把握し適切に進行管理を行うとともに、職員間で今後の方向性等を共有することで、職員の資質向上や組織基盤の強化にも取り組んだ。

また、基金取崩等により収入不足を補填している経営を改めるため、経営改善会議を実施し、経営改善に向けての現状分析と今後の方針について協議し、経営改善の方針を策定した。

【重点取組】

1 地区社会福祉協議会の活動支援

各地域の実情に合った地域福祉活動を推進していくために、地区社会福祉協議会が活動しやすいよう支援するとともに、福祉人材の発掘・育成、地域生活課題の早期発見や課題に対してともに取り組み、地区社会福祉協議会の活性化を図った。

2 総合相談体制の機能強化

障害の有無や年齢の区別なく地域住民の持つ多様化したニーズや複合的な課題を受け止め、相談や資金貸付、自己決定支援、情報提供等で、あらゆる個人や世帯の課題を包括的に支援できる相談支援体制を強化するとともに、制度の狭間にある福祉課題を抱える方や支援を拒む方への伴走型支援を進め、総合相談支援体制の構築を図った。

特に、ひきこもり状態にある方やそのご家族を含む生きづらさを抱える方においては、本人の複雑な状況や心情等を十分に理解し、丁寧に寄り添う対応が必要である。

職員の相談スキルを向上するとともに、組織全体で複合的な課題を抱える個人や世帯へ多角的に支援できる体制整備を行った。

3 幅広い世代への福祉教育の推進と実践

こどもから大人まで、様々な世代に向けて福祉への理解や関心を高める機会に触れることができるよう、計画的な学びを仕掛け、福祉課題の解決に主体的に取り組む人材の育成を図った。

4 各種団体との連携・強化

日頃から地区社会福祉協議会や民生委員児童委員協議会をはじめとした地域における各種団体と連携し、支え合える体制の強化を図った。

協定団体・市民団体・行政等と連携して、緊急時に備えた体制の整備を図り、これまでの協定を拡充した災害協定締結を進めた。

【事業報告】

1 地域福祉活動の推進

(1) 地区社会福祉協議会の活動支援

地域に根ざした福祉活動を展開している地区社会福祉協議会の活動が充実・発展するように支援を行うとともに、本協議会との連携強化を図った。

- ア 地区社会福祉協議会支援事業の実施
- イ 地区社会福祉協議会活動推進事業の実施
- ウ 地区社会福祉協議会運営体制支援事業の実施
- エ 地区社会福祉協議会地域活性化支援事業の実施

実施地区社協 16地区（新湊、庄西、作道、堀岡、七美、三ヶ、戸破、金山、大江、黒河、池多、太閤山、南太閤山、浅井、櫛田、二口）

(2) ケアネット活動の推進

地域のニーズを把握し、その解決に取り組む活動を通じて住民参加による福祉コミュニティづくりを推進した。また、医療、保健、福祉等、生活を支援する関係者ともネットワークを構築し、誰もが安心して生活できる地域づくりを進めた。

- ア 地区社会福祉協議会での相談、支援、活動実施状況の確認
- イ ケアネット活動の取組状況

年度	チーム員数	利用者数	活動延べ回数
R6	446名	209名	51,970回
R5	466名	221名	49,564回

(3) 民生委員・児童委員活動との連携及び活動支援

民生委員・児童委員活動の推進と活動の強化を図るため、福祉サービス等に関する情報の提供を行い相互の連携を図った。

(4) 子育て支援ネットワークの充実

子どもの健全育成のため、地域ぐるみで子育て環境の向上を図った。

ファミリーサポートセンター事業の実施

ア 地区別活動件数

(単位：件)

年度	新湊	小杉	大門	大島	下村	計
R6	32	458	510	251	41	1,292
R5	23	332	136	194	56	741

イ 会員人数

(単位：名)

年度	協力会員	両方会員	依頼会員	計
R6	294	26	529	849
R5	290	24	506	820

ウ 行事一覧

実施日	事業名	場所	内容	参加人数
6月26日(水)	キャラバン	救急薬品市民交流プラザ別館	腹話術と読み聞かせ 講師：朴木 純子氏	17名(親子7組) 2名(協力会員) 12名(サブリーダー)
7月8日(月)	研修会	救急薬品市民交流プラザ3階1AB	子ども救命救急講習会 講師：日赤富山県支部 林 亜伊子氏	20名(受講者) 6名(託児) 6名(サブリーダー)
7月12日(金)	研修会	救急薬品市民交流プラザ3階1AB	子ども救命救急講習会 講師：日赤富山県支部 林 亜伊子氏	13名(受講者) 4名(託児) 8名(サブリーダー)
8月19日(月)	キャラバン	救急薬品市民交流プラザふれあいホール	PR活動(ママこら〜れ)	2名(代表者/世話人)
10月17日(木)	会員研修会	富山第一自動車学校	安全運転講習会 講師：自動車学校職員	5名(受講者)
10月21日(月)	キャラバン	救急薬品市民交流プラザふれあいホール	リズム遊び 講師：増本 衣規氏	22名(親子10組) 2名(協力会員) 6名(サブリーダー)
11月13日(水)	キャラバン	救急薬品市民交流プラザ別館	PR活動 (母子保健協議会小杉地区 親子交流会)	6名(協議会員) 10名(親子)
12月18日(水)	キャラバン	救急薬品市民交流プラザ別館	PR活動 (母子保健協議会小杉地区)	15名(協議会員)
2月10日(月)	キャラバン	あそぼ一館	PR活動	
2月14日(金)	キャラバン	射水市子育て支援センター	PR活動	
2月22日(土)	会員交流会	救急薬品市民交流プラザふれあいホール	親子ふれあい観劇会 劇団：風の子中部 (おしくらまんぼ)	97名(親子33組) 7名(協力会員) 13名(サブリーダー)
3月18日(火)	キャラバン	射水市子育て支援センター	PR活動	

エ サブリーダー会議及びサブリーダー研修の開催

実施日	場所	内容
5月22日(水)	救急薬品市民交流プラザ3階1A	委嘱状交付・活動状況報告・年間行事計画について等
9月25日(水)	救急薬品市民交流プラザ3階2B	活動状況報告・活動内容について・補償保険制度について・とみいくデジタルポイントについて・サブリーダー視察研修について・行事打合せ等
11月14日(木)	高岡市子育て支援センター	施設見学・情報交換等
3月5日(水)	救急薬品市民交流プラザ3階2A	活動状況報告・今年度の振り返り・次年度行事計画案協議等

オ 子育て支援センター会議への出席

実施日	場所	内容
4月23日(火)	射水市役所会議室303	研修「防災対策について」・自己紹介及び支援センター紹介・子育て支援センター担当者会議年間計画(案)・近況報告及び情報交換・その他
6月20日(火)	射水市子育て支援センター2階会議室	活動報告(4月～6月)・事例検討・保育のポケット・その他
9月24日(火)	射水市子育て支援センター2階会議室	研修「療育について」・活動報告(7月～9月)・事例検討・その他
11月26日(火)	射水市子育て支援センター2階会議室	活動報告(10月、11月)・事例検討・保育のポケット・その他
2月25日(火)	射水市子育て支援センター2階会議室	活動報告(12月～3月)・来年度について(研修会等について)・保育のポケット・その他

(5) 地域団体が主催する活動への参加

福祉課題の把握や地域団体との有機的なネットワークの構築を目的に地域団体関係者と連携を図った。

①地区社会福祉協議会関係(総会、定例会、研修会、行事等)	118件
②地域支え合いネットワーク事業関係(各地区定例会、行事等)	230件
③ボランティア関係(市ボランティア連絡協議会役員会、福祉教育等)	18件
④民生委員児童委員関係(単位民児協、地区民生委員定例会等)	19件

※その他、地域支え合いネットワーク事業(第1層及び第2層生活支援コーディネーター圏域)活動(定例会、行事等)にも参画

(6) 研修会講師の派遣

地域住民からの要望に応じて、福祉に関する講座を開催した。

地区社協、単位民児協、自治会・町内会等	16件
---------------------	-----

※教育機関等での福祉授業除く

2 担い手の育成・確保

(1) 福祉人材発掘・養成

地域福祉の担い手となる人材の育成・確保を通じて、地域の中で住民同士の支え合い活動が自然な形で展開される環境づくりを図った。

点訳・音訳・手話の奉仕員養成講座の受講者数 (単位: 名)

年度	点訳 (入門)	点訳 (基礎)	音訳 (入門)	音訳 (基礎)	手話 (入門)	手話 (基礎)	手話 (フォロー アップ)
R6	-	19	4	33	-	4	9
R5	3	-	-	33	5	8	10

(2) ボランティア活動の推進

地域福祉に対する理解と認識を高めるため、より一層の啓発を図り、また、ボランティア活動の育成強化を積極的に推進するとともに、人材の発掘、養成を図った。

ボランティアセンター登録状況

年度	個人	団体
R6	5名	125団体 (4,805名)
R5	38名	141団体 (5,135名)

ア 地域福祉講座の実施

自分たちの住む地域にある社会資源を学び、ワールドカフェによる事例検討を通して様々な視点で話し合い、支援のすすめ方や支え合う大切さを考え、地域のネットワークづくりを推進することを目的に開催した。

期 日 令和6年7月18日 (木)

場 所 救急薬品市民交流プラザ1階ふれあいホール

参加者 21名

講 義 「事例から考えよう! 支え合う地域づくり」

講 師 社会福祉法人太陽会 安房地域医療センター 医療・福祉相談室
室長 田中 典仁 氏

イ 傾聴講座の実施

期 日 第1回: 令和7年1月7日 (火)

第2回: 令和7年1月14日 (火)

場 所 救急薬品市民交流プラザ1階ふれあいホール

参加者 第1回: 26名 第2回: 29名 延べ55名

内 容 第1回: 講義・実技①

第2回: 実技②、グループワーク

講 義 「傾聴を学ぼう！～相手の心に寄り添い話を聴くために～」

講 師 富山国際大学 子ども育成学部 教授 相山 馨 氏

ウ 射水市ボランティア・市民活動交流会

期 日 令和7年3月5日（水）

場 所 救急薬品市民交流プラザ1階ふれあいホール

参加者 56名

内 容 ボランティア同士が情報交換を行い、ボランティア活動及び
地域活動の活性化について意見交換を行った。

活動報告 報告者：射水まちづくりネットワーク 副会長 島崎 洋一 氏

エ ボランティア推進校連絡会

期 日 令和6年7月29日（月）

場 所 救急薬品市民交流プラザ3階会議室1AB

参加者 16名

講 義 「福祉教育の意義と子どもの成長」

グループワーク 「地域を基盤とした福祉教育の進め方（入門編）」

講 師 富山福祉短期大学 社会福祉学科 教授 鷹西 恒 氏

オ 児童・生徒へのボランティア活動の普及

① 次世代のボランティア活動定着を目的とした学校のボランティア活動への助成

② ボランティア活動に関する助言

③ ボランティア推進校の活動をホームページに掲示

カ 地域指定による福祉教育の推進

地域との連携を図りながら、ボランティア活動・体験学習に関する事業の実施を
支援（大島地区）

キ ボランティアセンターの運営と機能強化

① 広報啓発の普及促進

② 社会貢献活動の支援

③ ボランティア情報の収集と提供

④ ボランティア保険の加入推進

年度	加入者数	うち助成人数
R6	3,838名	855名
R5	4,153名	1,225名

ク ボランティア相談件数

年度	件数
R6	350件
R5	610件

3 災害時の支援体制整備

(1) 災害時の支援体制の整備

ア 実態把握調査の実施

地区社会福祉協議会や各種団体等と連携し、日頃からの見守り活動や要支援者への災害支援時に支え合える体制づくりの推進を図るため、実態把握調査を行った。

いのちのバトンの実績

年度	配置数	登録者の出動件数	登録者の活用件数
R6	2,333名	82件	55件
R5	2,271名	96件	80件

イ 災害ボランティアセンター設置訓練の実施

期 日 令和6年9月29日（日）

場 所 小杉南中学校 体育館

参加者 職員9名

内 容 射水市総合防災訓練において災害ボランティアセンター設置訓練を実施し、災害ボランティアセンターに関する動画を視聴後、住民がQRコードによるボランティア登録申込を体験した。

ウ 災害協定団体を対象とした研修会の開催

期 日 令和7年2月21日（金）

場 所 救急薬品市民交流プラザ3階会議室2AB

参加者 31名

講 義 「能登半島地震から学ぶ多様な組織と災害ボランティアセンターの連携事例」

講 師 一般社団法人 ピースボード災害支援センター 関根 正孝 氏

4 多機関との協働体制の仕組づくり

(1) 専門多職種ネットワーク促進事業

福祉ニーズの多様化・複雑化に対応するため、市内で相談援助に就く専門職を対象に、事例検討を通じて市内全体の相談援助力の向上と相互連携・協働の強化を図り包括的支援体制を目指すことを目的に、研修会を開催した。

第1回

期 日 令和6年7月17日（水）

場 所 救急薬品市民交流プラザ1階ふれあいホール

内 容 顔の見える関係づくり研修会と題して、ワールドカフェを通じた事例検討を行うことで潜在的な相談者の発掘や伴走型支援の重要性と多機関が協働・連携して対応するためのネットワーク体制構築の大切さを学んだ。

講 師 社会福祉法人太陽会 安房地域医療センター
医療・福祉相談室 室長 田中 典仁 氏

参加者 49名（市内福祉・医療関係事業所で相談援助に関わる職員）

第2回

期 日 令和7年2月28日（金）

場 所 救急薬品市民交流プラザ1階ふれあいホール

内 容 レッツトークカードを使ったワークショップ。

「Let's Talk ～あなたにとって大切にしたいことを考えよう～」と題して、自分の生き方や大切にしたいことを語り合い、意志決定支援について学んだ。

講 師 金城大学 公衆衛生看護専攻科 曾根 志穂 氏

参加者 37名（市内福祉・医療関係事業所で相談援助に関わる職員）

（2） 地域公益活動の推進

地域における公益的な取り組みの推進を図るため、市内社会福祉法人が連携を深め、福祉ニーズの把握、福祉課題の共有及び解決方法等について検討を進めた。

ア 研修会の開催

期 日 令和7年3月17日（月）

場 所 救急薬品市民交流プラザ3階会議室2AB

参加者 8名

内 容 第1部 講義 災害発災を想定しての社会福祉法人のBCPについて

講師 社会福祉法人富山聖マリア会

（富山県地域福祉研究会監事）

事務局長 坂田 克司 氏

第2部 意見交換

イ 射水市内社会福祉法人の巡回訪問

市内の社会福祉法人を訪問し、人材不足や社会福祉法人の地域貢献等について意見交換を行った。

（3） 商福連携の推進

前年度に引き続き、射水市商工会主催の商工まつりに参加し、災害ボランティアセンターの写真掲示や共同募金カプセルトイの設置、モノ・ドライブを実施した。

また、商工会とは定期的に話し合いの場を設け、商業と福祉の連携に関して、情報交換等を行った。

ア フードドライブの協力

期 日 令和6年5月10日（金）～5月12日（日）

場 所 アルビス大島店

配布先 市内こども食堂他

イ ふるさと商工まつりin射水でのモノ・ドライブ実施

期 日 令和6年9月8日（日）

場 所 大島中央公園

配布先 被災者支援団体他

(4) 他団体が主催する活動への参加

福祉課題の把握やチームアプローチの推進として、相談員の資質向上、孤立化防止と日頃からの社会資源同士のネットワークの形成を目指し、定例会や事例検討会へ出席した。

①高齢者福祉分野（包括会議、社会福祉士部会）	38件
②障がい者福祉分野（相談支援部会、こども部会）	14件
③その他	28件

5 総合相談支援体制の機能強化

「ふくし総合相談センターすてっぷ」を設置し、住民の日常生活から生じる心配ごとや悩みごとに関する相談体制の充実・強化を図った。

(1) 生活困窮者自立支援事業

ア 自立相談支援事業

経済的困窮者や複合的な課題を持つ世帯の相談に応じ、一人ひとりの状況に合わせた支援を実施した。

① 支援実績 (単位：件)

年度	延べ 支援回数	支援方法別内訳				
		電話	訪問・同行	面談	他機関への 電話照会・協議	その他
R6	1,350	509	162	156	244	279
R5	1,469	598	177	207	259	228

② 新規相談件数 ③ 法に基づく事業等利用実績 (単位：件)

年度	新規 相談件数	主な支援内容				
		支援調整会議	支援プラン 作成件数	住居確保給付 金申請件数	生活保護受給者等 就労自立促進事業	緊急食糧支援
R6	17	12	2	0	0	6
R5	29	10	4	0	0	6

④ 新規相談内容及び件数（重複有り）

ひきこもり・不登校（9件）、収入・生活費（7件）、病気や健康、障害のこと（7件）
 家族との関係（6件）、仕事探し・就職（5件）、債務について（3件）、住まい関連（3件）
 仕事上の不安やトラブル（2件）、税金や公共料金の支払いについて（2件）
 食べるものがない（2件）、子育て（0件）、介護のこと（0件）、地域との関係性（0件）
 DV・虐待（0件）、その他（1件）

イ 家計改善支援事業

様々な生活課題を抱えて収入と支出のバランスが取れていない世帯へ、家計状況を一緒に確認・整理し家計改善につながる支援を実施した。

コロナ特例貸付のフォローアップ支援から、家計改善相談に繋がるケースがあった一方で、相談のみに留まり実際の家計改善支援まで至らないケースが多かった。

- ① 延べ相談支援件数 100件
- ② 生活困窮者家計相談者数 10名
- ③ 家計再生プラン数 1件

ウ 就労準備支援事業

直ちに就労が難しい人を対象に一般就労へ向けての準備支援体制の整備を行った。

また、体験就労等活動場所として市内4地域活動支援センターに継続的な協力を依頼するとともに、就労体験受入協力事業所として登録いただいている市商工会所属の4事業所と、ひきこもり支援を行う1事業所に継続的な協力の方を承をいただいた。

① 延べ相談支援件数 151件

② 生活困窮者就労準備支援相談者数 6名（うち心理検査実施者5名）

③ 就労準備支援プラン数 1件

就労支援の一環で、相談員が心理検査（WAIS-III）を行い、作業能力・得意不得意など適性の分析結果をもとに、相談者本人と振り返りを行った。その結果、自身を見つめ直したり、仕事探しに活用していただいたりすることができた。自身の力で求職活動を行われ就労決定した方もおられた。

（2） ひきこもり支援事業

ア 相談件数実績 延べ相談件数 583 件 （R5 572件）

相談者別内訳						
年度	本人	家族	隣人知人、地域	専門機関	行政	その他
R6	220	250	3	82	21	7
R5	262	168	6	98	25	13
受付方法別内訳						
年度	電話	訪問	来所	電子メール	その他	
R6	149	104	90	177	63	
R5	186	127	82	92	85	

① 相談内容および延べ対応件数実績

年度	総数	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
R6	1,059	168	230	112	14	44	127	91	105	118	50
R5	1,018	135	311	92	16	38	85	79	151	109	2

①家族関係、②医療・健康、③就労、④経済的支援、⑤不登校、
⑥コミュニケーション、⑦居場所活動・家族会、⑧他機関との連携、
⑨状況確認、⑩その他

② 新規相談者の性別内訳

年度	件数	男	女	不明
R6	9	6	3	0
R5	10	5	5	0

③ 新規相談者の年代別内訳

年度	件数	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不明
R6	9	0	2	3	2	2	0	0
R5	10	2	0	3	4	1	0	0

イ 専門相談会

精神保健福祉士等の専門資格を持った相談員が対応する相談会を開催した。

ひきこもりについて相談されるケースは、障害に関する困りごとも多いことから市内のひきこもり支援に関わる団体やピアカウンセラー、障害福祉分野の支援団体に相談員として協力いただいた。

専門相談会開催実績

年度	開催回数	相談件数	参加者数	本人	家族	事業所	その他
R6	12	25	37	1	35	1	0
R5	12	29	48	12	36	0	0

ウ 出張相談会（新規）

移動手段がなく相談に来られない方のために地域において相談できる場所を設け、相談会を開催した。

	実施日	場所	相談件数
第1回	9月22日（水）	大島コミュニティセンター	相談 2件
第2回	11月8日（金）	新湊交流会館 出張すてっぷカフェと合同開催	相談 0件 (カフェ参加者) 当事者4名 家族1名
第3回	1月18日（土）	Sondeいい家 はあとぴあ21主催の居場所に出張	相談 3件

エ 居場所支援（すてっぷカフェ）

ひきこもり等生きづらさを抱える方やその家族が集まって自由に過ごす居場所として開催した。当事者と家族の居場所をそれぞれ開催し、同じ立場の人同士が交流できる場をつくった。

① すてっぷカフェ開催実績

年度	開催回数	参加者数	本人	家族	その他	サポーター
R6	12	87	68	16	3	37
R5	12	66	57	8	1	40

② すてっぷカフェ家族会開催実績

年度	開催回数	参加者数	本人	家族	その他	サポーター
R6	12	47	5	42	0	39
R5	12	70	10	60	0	40

オ 射水市ひきこもりサポーター養成研修（2日間）

ひきこもりに関する正しい理解、本人や家族へのかかわり方などを学び、地域により多くの理解者・支援者を育成することを目的とした研修会を開催した。

修了者 24名（うちサポーター新規登録者8名）

第1回研修会

期 日 令和6年9月5日（木）

場 所 救急薬品市民交流プラザ1階ふれあいホール

内 容 説明「ひきこもりサポーターの役割」
 射水市社会福祉課職員
 説明「射水市ひきこもりサポーター令和5年度活動状況について」
 本協議会職員
 講義「当事者や家族とのコミュニケーション～また話したいなと
 思われる支援者になるために～」
 講師 医療法人社団あずさ会川田病院
 公認心理士・臨床心理士 石黒 美幸 氏
 講義「支援者・当事者の話を聞いて理解を深めよう」
 講師 特定非営利活動法人はあとぴあ21 理事長 高和 正純 氏
 講義「ひきこもりの理解」
 講師 グリーンヒルズ若草病院 院長 片町 隆夫 氏
 講義・演習
 「ひきこもりサポーターの心構えや自分たちにできること」
 講師 富山福祉短期大学 社会福祉学科 中村 尚紀 氏

カ 射水市ひきこもりサポーター勉強会（4回開催）

ひきこもりサポーターの活動について改めて視野を広げ、地域の社会資源の発見
 や発掘、そして繋ぎ役としての役割について学ぶことを目的に開催した。

第1回勉強会

期 日 令和6年11月1日（金）
 場 所 救急薬品市民交流プラザ3階会議室2AB
 受講者 12名
 内 容 講義「ひきこもりについて改めて考えてみよう～SOSが出せない背景～」
 ロールプレイ・グループワーク
 講師 富山福祉短期大学 社会福祉学科 中村 尚紀 氏

第2回勉強会

期 日 令和6年12月6日（金）
 場 所 救急薬品市民交流プラザ3階会議室2AB
 受講者 20名
 内 容 講義「様々な場面でのコミュニケーション～こんな時はどうするの～」
 ロールプレイ・グループワーク
 講師 富山福祉短期大学 社会福祉学科 中村 尚紀 氏

第3回勉強会

期 日 令和7年1月17日（金）
 ひきこもりサポーターフォローアップ研修と合同開催

第4回勉強会

期 日 令和7年2月14日（金）
 場 所 救急薬品市民交流プラザ3階会議室2AB
 受講者 13名
 内 容 講義「1年間を振り返ってみよう。サポーター体験談」
 講師 富山福祉短期大学 社会福祉学科 中村 尚紀 氏

キ 射水市ひきこもりサポーターフォローアップ研修

ひきこもりについての理解を深め、今後のひきこもり支援の向上を目的として支援者のスキルアップのための研修会を開催した。

期 日 令和7年1月17日（金）

場 所 救急薬品市民交流プラザ3階会議室2AB

受講者 9名

内 容 講義「社会資源って何だろう

～身近にある宝物に気付いてみよう～」

講師 富山福祉短期大学 社会福祉学科 中村 尚紀 氏

(3) 日常生活自立支援事業

自分一人で判断することが難しい方が地域で安心して生活を送れるよう、福祉サービスの利用援助を中心に、日常的な金銭管理や書類の預かり等の支援を行った。

加えて、成年後見制度の利用が必要とされる契約者について、適切に制度移行できるように支援した。

ア 相談件数 (単位：件)

年度	問合せ件数	初回相談件数	相談援助件数	合計
R6	2	29	841	872
R5	24	20	1,057	1,101

イ 契約締結件数 (単位：件)

年度	前年度末利用件数	新規契約者件数	契約終了者件数	年度末実利用件数
R6	12	0	3	9
R5	14	1	3	12

ウ 実利用者の内訳 (単位：名)

年度	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	その他
R6	5	3	1	0
R5	5	5	2	0

エ 生活支援員 (単位：名、回)

年度	登録者数	延べ支援回数
R6	22	182
R5	22	199

(4) 生活福祉資金貸付事業

他の貸付制度が利用できない低所得世帯や障害者世帯、高齢者世帯に対して資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより世帯の自立と生活の安定を図った。

ア 新規相談件数（実数） (単位：件)

年度	件数
R6	44
R5	61

イ 延べ相談件数 (単位：件)

年度	件数
R6	259
R5	238

ウ 生活福祉資金決定件数 (単位：件)

年度	件数
R6	1
R5	5

エ 令和6年能登半島地震による生活福祉資金特例貸付(災害特例)への対応

受付開始 令和6年1月22日～

貸付決定 0件、延べ相談件数 10件、相談実件数 5件

オ 生活福祉資金特例貸付(コロナ特例)のフォローアップ支援

コロナ特例貸付の借受人の中で償還滞納者、償還困難者の生活状況の把握、償還相談や生活支援に取り組んだ。

相談専用のLINEアカウントを開設し、LINEでの相談受付が可能になった。

延べ借受件数 1,033件 実借受件数 547件

R6延べ相談件数 599件(電話299件、訪問98件、相談対応他202件)

(5) 研究・実践発表と講師派遣

ふくし総合相談センターすてっぷの取組について、事例や研究成果の発表を行った。

月日	研修会名	発表内容
10月11日(金)	令和6年度 富山県日常生活自立支援事業市町村専門員研修会	若年層の知的障害者の意思決定支援について
11月10日(日)	第18回KHJ全国大会in 石川	8050問題と他機関連携 「地域に広げるひきこもり理解の輪」
1月25日(土)	ゲートキーパーネットとやま 令和6年度 第5回勉強会	「地域に広げるひきこもり理解の輪」
1月31日(金)	令和6年度 社会福祉協議会地域福祉実践研究発表	「ひきこもりって何だろう。まず知ろう、ひきこもりの現在～地域に広げるひきこもり理解の輪」

(6) 社会資源開発への取組

既存のサービスの枠内では対応が難しいニーズに対して、柔軟に対応できるサービスや支援方法を生み出し、制度の狭間にある課題に対してアプローチするために、福祉分野に留まらず、学校や企業、NPO法人などと意見交換や事例検討を行った。

(7) 心配ごと相談事業

相談件数

(単位：件)

年度	小杉相談所	新湊相談所	合計
R6	10	1	11
R5	6	4	10

※令和6年9月末 新湊相談所閉所

(8) その他相談

相談件数

(単位：件)

年度	件数
R6	73
R5	92

6 高齢者福祉の推進・質の高い介護サービスの提供

(1) 総合的に高齢者を支える仕組づくり

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう、介護、福祉、健康、医療などの様々な視点から関係機関と連携し、ワンチームで高齢者福祉の推進を図った。

ア 大島地域包括支援センター事業の実施

① 介護予防支援・介護予防ケアマネジメントの実施

区 分	介護予防支援	介護予防ケアマネジメント
利用者数（延べ人数）	R6 433	305

② 総合相談事業

区 分	一般相談	ケアマネ相談
相談延べ件数	R6 2,015	210

③ 包括的・継続的ケアマネジメント事業

区 分	包括会議	事例検討会（GENKI式・看取り事例等）	個別ケア会議
実施件数	R6 3	3	1

④ 介護予防・日常生活支援総合事業

区 分	地域啓発活動	高齢者実態把握調査
実施件数	R6 6	117 人

イ 生活支援体制整備事業の実施（大島地区第2層生活支援コーディネーターの配置）

第3層生活支援コーディネーター定例会、第2層の連絡会議に出席し、地域における生活支援体制の整備に向け関係者と連携を図り、プレ地域課題会議を実施した。地域のいいところ、不安なところを共有し、今後、地域でできることを話し合った。

ウ 認知症総合事業の実施（認知症地域推進員の配置）

認知症に関する正しい知識と理解を普及するために、各種講座（認知症サポーター養成講座等）を実施した。

(2) 要介護者へのケアマネジメントの実施

介護を必要とする方が、自宅で適切に介護サービスを利用でき、その有する能力に応じた自立生活を営むことができるよう公正中立で適切な支援を行った。

居宅サービス計画の作成、サービス実施状況の把握と継続的な評価、介護保険施設の紹介
(単位：人)

		大島在宅介護支援センター	
区 分		居宅介護支援	介護予防支援
利用者	R6	1,180	21
(延人数)	R5	1,119	146

7 組織体制と経営基盤の強化

射水市の地域福祉を推進する中核団体として、誰もが安心して幸せに暮らすことのできる地域づくりを推進していくため、「発展・強化計画」の進行管理や課題分析を行い、組織及び財務等の基盤強化を図った。

(1) 組織体制の強化

ア 役員視察研修の開催

期 日 令和6年10月30日(水)～10月31日(木)

場 所 埼玉県 東松山市社会福祉協議会、狭山市社会福祉協議会

参加者 役員8名、職員2名

内 容 東松山市社会福祉協議会（災害ボランティアセンターに関すること）
狭山市社会福祉協議会（重層的支援体制整備事業に関すること）

イ 職員ワーキングの開催 10回

発展・強化計画の取組状況や今後の取組について協議

各所属が実施したワーキング会議では、職員間のコミュニケーションや情報共有、職員の考えを知る機会となった。

ウ 事務の効率化や新事業などの職員提案を募集し、4件の提案があった。

方針（導入検討1件、試行検討1件、調査及び研究2件）を決め、各所属で検討を行った結果、1件が導入となった。

エ 職員育成のため研修等への参加及び情報の共有

オ DX推進のための調査・研究

職員間の情報共有と事務効率化を図るため「ラインワークス」を活用した。

射水市防災訓練時にラインワークスを活用した、職員の安否確認訓練を実施した。また、ふくし総合相談センターすてっぷの相談支援ツールのひとつとして、生活福祉資金借受人やひきこもり相談（本人・家族）に対し、ラインワークスを活用して、ライン相談を実施した。

(2) 経営基盤の強化

ア 実施する地域福祉活動に賛同いただけるよう、企業訪問し賛助会費の説明と依頼を実施

賛助会費の納入件数

依頼方法	依頼した事業所数	納入した事業所数
郵送	297	214
訪問	31	16

イ 経営改善の取組

毎事業年度において損失が発生し、基金取崩等により収入不足を補填している経営を改めるため、経営改善会議を実施した。

第1回（令和7年1月29日）

決算状況と今後の見込み、費用別構成比等、課題や他団体事例を踏まえ、改善方針（案）を協議

第2回（令和7年2月14日）

第1回会議の意見を踏まえ、改善方針（案）を協議

第3回（令和7年2月28日）

具体的方策や今後の進め方の協議

（3） 魅力ある広報活動

ア 広報プロジェクトチーム会議の実施

職員による広報プロジェクトチーム会議を実施し、広報力強化を図るため内容や活動について協議した。

第1回（令和6年10月20日）

グーグルフォームの活用と扱いについて

福祉いみず企業広告について

ホームページのリニューアルについて

令和7年度紙面計画（案）作成について

第2回（令和6年12月23日）

第1回会議の意見を踏まえ、再度内容協議を行った。

第3回（令和7年2月5日）

応援企業寄附について

SNS導入について

イ 広報紙「福祉いみず」の充実

年4回発行（5、8、11、2月）全ページフルカラー。

表紙に住民参加の掲載や新学生プロジェクトとして震災のボランティア活動を行った学生の紹介、特集と連動した内容構成、より見やすく分かりやすく充実した内容作りに努めた。

広報紙は、市内全戸配布のほか賛助会員や関係機関等に配布した。

発行月	特集内容
5月	災害ボランティアでつながる力
8月	ひきこもりって何だろう？ まず知ろう、ひきこもりNOW
11月	誰もが自分らしく生きられる ～インクルーシブ社会の実現を目指そう！！～
2月	能登半島地震から一年 私たちの生活を振り返る

ウ 新たな情報発信ツールの活用

本協議会のYouTubeチャンネルを開設し、射水市社会福祉大会記念講演やひきこもり勉強会について発信した。

エ ホームページによる情報発信

本協議会の概要や講座情報等について随時掲載を行い、適切でタイムリーな情報発信に努めた。

本協議会のホームページのリニューアルに向けて、現状と課題を整理し、情報収集を行った。得たい情報を分かりやすく発信できるホームページ作成を進めた。

(4) その他の取組

ア 寄附状況

社会福祉事業	寄附金	団体	6件	392,230円
		個人	5件	309,024円
		小計	11件	701,254円
	寄附物品	団体	1件	タオル
		個人	2件	紙おむつ、タオル
		小計	3件	
善意銀行事業	寄附金	団体	6件	53,816円
		その他	1件	19,410円
		小計	7件	73,226円
合計	寄附金		18件	774,480円
	寄附物品		3件	

イ 社会福祉大会の開催

社会福祉の推進にご尽力いただいた人を表彰するとともに基調講演を開催し、市民協働及び共生意識の促進を図った。

期 日 令和6年10月7日（月）

場 所 アイザック小杉文化ホールひびきホール

参加者 約500人

会長表彰 （個人）31名 （団体）2団体

会長感謝状 （個人）1名 （団体）1団体

記念講演 「インクルーシブ社会の実現を目指して
～心のバリアの正体を知ろう～」

講 師 一般社団法人Ponteとやま 代表理事 水野 カオル 氏

ウ 福祉バス運行事業

年度	利用回数	利用者数
R6	139 回	2,330 人
R5	146 回	2,450 人

エ 車いす、高齢者疑似体験セット、レクリエーション機材の貸出
各種福祉機材の利用普及、利用者及びその家族への相談助言を行った。

・利用数（台数）

区 分	R6	R5
車イス	106	128
高齢者疑似体験セット	38	28
レクリエーション機材	123	158

【理事会・監事会・評議員会等の開催状況】

■ 理事会

○ 第1回 (令和6年5月13日) 文書審議

(1) 審議事項

議案第1号 評議員の推薦について

○ 第2回 (令和6年6月10日)

(1) 審議事項

議案第2号 令和5年度事業報告について

議案第3号 令和5年度社会福祉事業収支決算について

議案第4号 令和5年度公益事業収支決算について

議案第5号 評議員の推薦について

報告第1号 専決処分の報告について（社会福祉法人射水市社会福祉協議会資格取得支援制度規程の一部改正）

(2) 協議事項

1) 第18回射水市社会福祉大会について

2) 役員視察研修について

(3) 報告事項

1) 理事の選任結果について

2) 評議員の選任結果について

3) 射水市社会福祉協議会発展・強化計画の進行管理に係る令和5年度実績評価について

(4) その他

1) 寄附状況について

2) 令和6年度射水市社会福祉協議会世帯会費の依頼について

3) 令和6年度赤い羽根共同募金運動の協力依頼について

4) 今後の日程について

○ 第3回 (令和6年9月25日)

(1) 協議事項

1) 第18回射水市社会福祉大会について

2) 市への要望書について

3) 役員視察研修について

4) 役員への賛助会費の協力依頼について

(2) その他

- 1) 寄附状況について
- 2) 今後の日程について

○ 第4回 (令和6年12月25日)

(1) 審議事項

- 議案第6号 社会福祉法人射水市社会福祉協議会令和6年度第1次補正収支予算について
- 議案第7号 社会福祉法人射水市社会福祉協議会役員及び評議員選任規程の一部改正について
- 報告第2号 専決処分の報告について(社会福祉法人射水市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正)

(2) 報告事項

- 1) 役員視察研修について
- 2) 市との意見交換会について

(3) その他

- 1) 寄附状況について
- 2) 今後の日程について

○ 第5回 (令和7年3月26日)

(1) 審議事項

- 議案第8号 社会福祉法人射水市社会福祉協議会令和6年度第2次補正収支予算について
- 議案第9号 社会福祉法人射水市社会福祉協議会令和7年度事業計画について
- 議案第10号 社会福祉法人射水市社会福祉協議会令和7年度収支予算について
- 議案第11号 社会福祉法人射水市社会福祉協議会社会福祉振興基金の処分について
- 議案第12号 社会福祉法人射水市社会福祉協議会職員の育児休業及び介護休業等に関する規程の一部改正について
- 議案第13号 社会福祉法人射水市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について

(2) 協議事項

- 1) 経営改善の取り組みについて
- 2) 役員等研修会について

(3) 報告事項

- 1) ハラスメント対策及び職員相談窓口の設置について
- 2) 職員提案の結果について

(4) その他

- 1) 寄附状況について
- 2) 世帯会費の納入状況について
- 3) 役員及び評議員の改選に伴う候補者推薦依頼について
- 4) 今後の日程について

■ 監事会

○ 第1回 (令和6年5月24日)

(1) 監査

- 1) 令和5年度事業報告について
- 2) 令和5年度社会福祉事業収支決算について
- 3) 令和5年度公益事業収支決算について

■ 会長、副会長会議

- 第1回 (令和6年5月29日)
- 第2回 (令和6年8月28日)
- 第3回 (令和6年9月11日)
- 第4回 (令和6年11月8日)
- 第5回 (令和6年12月4日)
- 第6回 (令和7年2月27日)
- 第7回 (令和7年3月12日)

■ 会長・管理者会議 (毎月第1月曜日開催)

- 第1回 (令和6年4月1日)
- 第2回 (令和6年5月7日)
- 第3回 (令和6年6月3日)
- 第4回 (令和6年7月1日)
- 第5回 (令和6年8月5日)
- 第6回 (令和6年9月2日)
- 第7回 (令和6年10月4日)
- 第8回 (令和6年11月5日)
- 第9回 (令和6年12月2日)
- 第10回 (令和7年1月6日)
- 第11回 (令和7年2月3日)
- 第12回 (令和7年3月7日)

■ 評議員会

○ 第1回 (令和6年5月13日) 文書審議

(1) 審議事項

議案第1号 理事の選任について

○ 第2回 (令和6年6月26日)

(1) 審議事項

議案第2号 令和5年度事業報告について

議案第3号 令和5年度社会福祉事業収支決算について

議案第4号 令和5年度公益事業収支決算について

報告第1号 専決処分の報告について(社会福祉法人射水市社会福祉協議会資格取得支援制度規程の一部改正)

(2) 協議事項

1) 第18回射水市社会福祉大会について

(3) 報告事項

1) 理事の選任結果について

2) 評議員の選任結果について

3) 射水市社会福祉協議会発展・強化計画の進行管理に係る令和5年度実績評価について

(4) その他

1) 寄附状況について

2) 令和6年度射水市社会福祉協議会世帯会費の依頼について

3) 令和6年度赤い羽根共同募金運動の協力依頼について

4) 今後の日程について

○ 第3回 (令和6年9月25日)

(1) 協議事項

1) 第18回射水市社会福祉大会について

2) 市への要望書について

(2) その他

1) 寄附状況について

2) 今後の日程について

○ 第4回 (令和6年12月25日)

(1) 審議事項

議案第5号 社会福祉法人射水市社会福祉協議会令和6年度第1次補正収支予算について

議案第6号 社会福祉法人射水市社会福祉協議会役員及び評議員選任規程の一部改正について

報告第2号 専決処分の報告について(社会福祉法人射水市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正)

(2) 報告事項

1) 役員視察研修について

2) 市との意見交換会について

(3) その他

1) 寄附状況について

2) 今後の日程について

○ 第5回 (令和7年3月26日)

(1) 審議事項

議案第7号 社会福祉法人射水市社会福祉協議会令和6年度第2次補正収支予算について

議案第8号 社会福祉法人射水市社会福祉協議会令和7年度事業計画について

議案第9号 社会福祉法人射水市社会福祉協議会令和7年度収支予算について

議案第10号 社会福祉法人射水市社会福祉協議会社会福祉振興基金の処分について

議案第11号 社会福祉法人射水市社会福祉協議会職員の育児休業及び介護休業等に関する規程の一部改正について

議案第12号 社会福祉法人射水市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について

(2) 協議事項

1) 経営改善の取り組みについて

2) 役員等研修会について

(3) 報告事項

1) ハラスメント対策及び職員相談窓口の設置について

2) 職員提案の結果について

(4) その他

1) 寄附状況について

2) 世帯会費の納入状況について

3) 役員及び評議員の改選に伴う候補者推薦依頼について

4) 今後の日程について